

## プログラム 9月19日(日)

## 第1会場 3F ロイトンホール (A・B)

8:00~9:00 モーニングセミナー 1  
【アトピー性皮膚炎の Type2 炎症に迫る—IL-4 と IL-13 の役割とは—】

座長: 本田 哲也 (浜松医大)  
阿部 理一郎 (新潟大)

MS1-1 バリア機能障害から考える長期寛解維持  
井川 哲子(旭川医大)

MS1-2 新時代のアトピー性皮膚炎治療戦略～患者報告アウトカム (PRO) を活用しよう～  
小澤 麻紀(東北大/東照宮駅前皮膚科クリニック 宮城県仙台市)

共催: サノフィ株式会社

9:10~11:10 シンポジウム 4 【好中球】

座長: 山本 俊幸 (福島県立医大)  
氏家 英之 (北海道大)

SY4-1 好中球の基礎と、好中球を巡る皮膚疾患  
山本 俊幸(福島県立医大)

SY4-2 病理診断の clue としての好中球浸潤  
阿南 隆(札幌皮膚病理診断科 北海道札幌市)

SY4-3 好中球とがん  
箕輪 智幸(札幌医大)

SY4-4 ベーチェット病と壊疽性膿皮症  
川上 民裕(東北医科薬科大)

11:20~12:20 招待講演 3

座長: 宇原 久 (札幌医大)

IL3 ホモ・サピエンスのユーラシアへの拡散とアジア人の起源  
松村 博文(札幌医大保健医療学部理学療法学科)

12:30~13:30 ランチョンセミナー 7 【アトピー性皮膚炎・遺伝性角化症：病態と治療戦略】

座長: 山本 明美 (旭川医大)  
阿部 理一郎 (新潟大)

LS7-1 アトピー性皮膚炎の病態と治療戦略  
氏家 英之(北海道大)

LS7-2 遺伝性角化症でみられる revertant mosaicism  
乃村 俊史(筑波大)

共催:常盤薬品工業株式会社 ノブ事業部

13:40~14:40 教育講演 4

座長:田中 勝(東京女子医大東医療センター)

EL4 クイズ形式で学ぶダーモスコピー(炎症性疾患)  
古賀 弘志(信州大)

**第2会場 2F エンプレスホール**

8:00~9:00 モーニングセミナー 2

**【エキシマ光線療法~病院とクリニックでの臨床実践~】**

座長:上出 良一(ひふのクリニック人形町)  
多田 弥生(帝京大)

MS2-1 エキシマライトがもたらすクリニック経営におけるブランディング  
米田 明弘(桑園オリーブ皮膚科クリニック 北海道札幌市)

MS2-2 病院における紫外線光線療法のポジショニング~特に白斑の紫外線治療について~  
塚本 克彦(山梨県立中央病院)

共催:ウシオ電機株式会社

9:10~10:10 教育講演 3 **【在宅診療】**

座長:三浦 俊祐(三浦俊祐・貴子皮膚科)

EL3-1 それでも私は往診をする~皮膚科在宅診療のススメ  
袋 秀平(ふくろ皮膚科クリニック 神奈川県横浜市)

EL3-2 皮膚科在宅診療の傾向と対策  
堺 則康(東京医大)

10:30~12:00 東部支部企画 CPC **【大学間の垣根を越えた CPC】**

オーガナイザー:山元 修(鳥取大)  
阿南 隆(札幌皮膚病理診断科)  
総合司会:神谷 崇文(札幌医大)

企画概要:

東部支部所属の各大学から2名前後の若手医師を選出して参加頂く企画です。CPC 選手は、学会前日に異なった大学の方とグループを組み、共同で全例の CPC 症例について討議し、最終判断を付けます(プレ CPC)。プレ CPC で検討した内容を各グループの代表者が1題ずつ発表し、オーガナイザーの先生が病理診断のポイントや鑑別診断などを解説します。

12:30~13:30	<b>ランチョンセミナー 8</b> <b>【爪白癬の完全治癒を目指して 2021~私ならこう治療する~】</b>
	座長:山本 俊幸 (福島県立医大) 澤村 大輔 (弘前大)
LS8-1	透析患者の爪白癬治療~ネイリンの治療経験を踏まえて~ 菊池 信之(福島県立医大)
LS8-2	爪白癬 内服のすすめ 福田 知雄(埼玉医大総合医療センター)
	共催:佐藤製薬株式会社/エーザイ株式会社
13:40~14:40	<b>教育講演 5 【皮膚外科】</b>
	座長:爲政 大幾 (大阪国際がんセンター)
EL5-1	皮膚外科キホンノキー切開・縫合の極意— 竹之内 辰也(新潟県立がんセンター新潟病院)
EL5-2	創傷処置の実際~消毒、外用抗菌薬、ガーゼ使用の是非など~ 前川 武雄(自治医大)
<b>第3会場 2F リージェントホール</b>	
8:00~9:00	<b>モーニングセミナー 3</b> <b>【1時間でキャッチアップ! BRAF 陽性メラノーマ診療のポイント】</b>
	座長:竹之内 辰也 (新潟県立がんセンター新潟病院) 福島 聡 (熊本大)
MS3-1	30分でキャッチアップ! 皮膚外科を取り巻く最近の話題と BRAF 陽性メラノーマに対する術後補助療法 松下 茂人(鹿児島医療センター)
MS3-2	30分でキャッチアップ! BRAF 陽性進行期メラノーマに対する薬物療法 前川 武雄(自治医大)
	共催:ノバルティス ファーマ株式会社
9:10~11:10	<b>スポンサードシンポジウム</b> <b>【基礎と臨床の観点から考えるメラノーマの病型別治療戦略 -末端型・粘膜型メラノーマを中心に-】</b>
	座長:山崎 直也 (国立がん研究センター中央病院)
SSY-1	末端型・粘膜型メラノーマの特性 加藤 潤史(札幌医大)

SSY-2 メラノーマに対する放射線治療  
坂田 耕一<sup>1</sup>、晴山 雅人<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>札幌医大放射線医学講座、<sup>2</sup>札幌禎心会病院放射線治療センター)

SSY-3 末端黒子型・粘膜型メラノーマに対する薬物療法  
中村 泰大(埼玉医大国際医療センター)

SSY-4 メラノーマに対する腫瘍免疫学の挑戦  
鳥越 俊彦(札幌医大病理学第一講座)

ディスカッション

共催:小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

12:30~13:30 **ランチョンセミナー 9**  
**【AD 治療における患者さんのアンメットニーズと治療戦略】**

座長:奥山 隆平 (信州大)  
高森 建二 (順天堂大名誉教授)

LS9-1 アトピー性皮膚炎治療新時代におけるオルミエントの可能性  
中原 剛士(九州大)

LS9-2 作用機序から考えるバリシチニブの有効性と安全性  
井川 健(獨協医大)

共催:日本イーライリリー株式会社

**第 4 会場** **2F ハイネスホール**

8:00~9:00 **モーニングセミナー 4**  
**【皮膚科医が積極的に関わるべき希少疾患—HAE (遺伝性血管性浮腫)—】**

座長:相場 節也 (東北大名誉教授)  
河野 通浩 (秋田大)

MS4-1 どのような主訴から HAE を疑い鑑別し診断するか?—HAE との鑑別に苦慮する症例提示と最近のガイドラインの情報を含めて—  
福永 淳(神戸大)

MS4-2 遺伝性血管性浮腫診療の実際について  
内山 明彦(群馬大)

共催:武田薬品工業株式会社

## 9:10~10:10 一般演題 15 【上皮系腫瘍】

座長:佐藤 さゆり (札幌医大)  
柳 輝希 (北海道大)

- 0-93 当科で手術を施行した石灰化上皮腫の病理組織学的所見の検討—臨床所見との関連性も含めて  
三井田 博  
新潟県立新発田病院
- 0-94 Pilomatricoma の残存病変より再発した、Perforating pilomatricoma の 1 例  
角 総一郎<sup>1,2</sup>、佐藤 篤子<sup>2</sup>、神谷 浩二<sup>2</sup>、前川 武雄<sup>2</sup>、小宮根 真弓<sup>2</sup>、村田 哲<sup>2</sup>、  
大槻 マミ太郎<sup>2</sup>、中島 大智<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>茨城県西部メディカルセンター、<sup>2</sup>自治医大、<sup>3</sup>茨城県西部メディカルセンター形成外科
- 0-95 Acantholytic seborrheic keratosis の病態に關与する表皮角化細胞接着因子の特定  
小松 麻衣<sup>1</sup>、松尾 梨沙<sup>2</sup>、井川 哲子<sup>2</sup>、岸部 麻里<sup>2</sup>、山本 明美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>名寄市立総合病院、<sup>2</sup>旭川医大
- 0-96 術後に上顎洞再発と肺転移を生じた眼瞼脂腺癌の 1 例  
要藤 歩美<sup>1</sup>、佐々木 仁<sup>1</sup>、高塚 純子<sup>1</sup>、竹之内 辰也<sup>1</sup>、松本 康男<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>新潟県立がんセンター新潟病院、<sup>2</sup>新潟県立がんセンター新潟病院放射線治療科
- 0-97<sup>†</sup> 腫瘍辺縁が扁平隆起した基底細胞癌の臨床的・組織学的特徴  
田中 亮多<sup>1,2</sup>、小原 隼斗<sup>1</sup>、大東 智洋<sup>3</sup>、中村 貴之<sup>1</sup>、丸尾 和司<sup>3</sup>、藤澤 康弘<sup>1</sup>、  
乃村 俊史<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>筑波大、<sup>2</sup>水戸済生会総合病院、<sup>3</sup>筑波大生物統計学
- 0-98 食道癌による右第 5 指への皮膚転移症例  
勝又 文徳、岡田 寛文、神谷 浩二、前川 武雄、小宮根 真弓、大槻 マミ太郎  
自治医大

## 10:10~11:10 一般演題 16 【有棘細胞癌、メルケル細胞癌】

座長:岩田 浩明 (北海道大)  
堀本 浩平 (札幌医大)

- 0-99<sup>\*</sup> 急速に進行し、骨髄癌腫症を生じ死の転帰をたどったメルケル細胞癌の 1 例  
栗原 梓、柴 佳那、小坂 啓寿、金 滋仁、齋藤 晋太郎、栗山 裕子、上原 顕仁、  
安田 正人、茂木 精一郎  
群馬大
- 0-100<sup>†</sup> メルケル細胞癌に対するアベルマブの臨床効果  
松井 馨之、緒方 大、今井 聡子、江藤 博文、奥村 真央、日置 紘二郎、山川 浩平、  
陣内 駿一、並川 健二郎、高橋 聡、山崎 直也  
国立がん研究センター中央病院

- O-101 右鼻翼の有棘細胞癌に対して耳介からの Composite Graft を適応し整容的にも良好な結果を得られた一例  
安井 由希子<sup>1</sup>、加藤 裕史<sup>1</sup>、中村 元樹<sup>1</sup>、小田 隆夫<sup>2</sup>、森田 明理<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>名古屋市立大、<sup>2</sup>JJA愛知厚生連海南病院
- O-102<sup>†</sup> 腰臀部の慢性膿皮症から巨大有棘細胞癌を生じた 1 例  
伊藤 崇、森 龍彦、平岩 朋子、山本 俊幸  
福島県立医大
- O-103 ポリコナゾール長期内服中に発症した多発日光角化症と有棘細胞癌の 1 例  
福島 有貴、木下 真直、出口 順啓、島田 眞路、川村 龍吉  
山梨大
- O-104<sup>†</sup> 好中球リンパ球数比は皮膚有棘細胞癌の病勢を反映する  
前田 拓哉、豊島 梨乃、川嶋 久雄、中川 智絵、日浦 梓、上原 治朗、吉野 公二  
がん・感染症センター都立駒込病院

12:30~13:30 ランチョンセミナー 10 【乾癬患者の更なる治療満足度向上を目指して】

座長：大槻 マミ太郎（自治医大）  
佐伯 秀久（日本医大）

- LS10-1 バイオ時代の乾癬外用メソッド  
久米 昭廣(皮ふ科眼科 くめクリニック 大阪府堺市)
- LS10-2 クリニックにおける乾癬バイオ投与の試み  
高橋 英俊(高木皮膚科診療所 北海道帯広市)

共催：マルホ株式会社/ノバルティス ファーマ株式会社

**第 5 会場** 2F クリスタルルーム A

8:00~9:00 モーニングセミナー 5 【乾癬の治療戦略 up-to-date】

座長：藤田 英樹（日本大）  
山中 恵一（三重大）

- MS5-1 慢性疾患である乾癬に対する長期治療戦略～安全性から考えるクリニックでのバイオ選択も含めて～  
鎌田 昌洋(帝京大)
- MS5-2 IL-23 製剤の関節への実力は？大規模調査データと実臨床での比較検討やってみた  
山崎 文和(関西医大)

共催：大鵬薬品工業株式会社/ヤンセンファーマ株式会社

9:10~10:30

## 一般演題 17【リンパ腫】

座長:河井 一浩 (新潟医療生活協同組合木戸病院)  
島内 隆寿 (浜松医大)

- O-105<sup>†</sup> HAVCR2 遺伝子変異を認めた皮下脂肪織炎様 T 細胞リンパ腫の 1 例  
森坂 広行<sup>1</sup>、佐野 ほづみ<sup>1</sup>、小笠原 史也<sup>2</sup>、砥谷 和人<sup>2</sup>、佐野 栄紀<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>高知大、<sup>2</sup>高知大血液内科
- O-106 掌蹠膿疱症関連骨関節炎に対する抗 IL23 抗体治療中に、肉芽腫を伴う血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫を発症した 1 例  
工藤 真未、宮城 拓也、高橋 健造  
琉球大
- O-107 CD8+ $\alpha\beta$ T 細胞優位型種痘様水疱症様リンパ増殖異常症の 1 例  
大林 三裕佳<sup>1</sup>、中村 賢人<sup>1</sup>、岩月 啓氏<sup>2</sup>、古橋 卓也<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>春日井市民病院、<sup>2</sup>福島労災病院・岡崎医療センター
- O-108<sup>\*</sup> 匍行性迂回状紅斑様皮疹を呈した菌状息肉症の一例  
福山 茉莉花、菅原 基史、松尾 梨沙、林 圭、松谷 泰祐、野崎 尋意、小林 友紀、  
山本 明美  
旭川医大
- O-109 ベキサロテンで重症薬疹を生じた皮膚 T 細胞リンパ腫の 2 例  
千葉 広夢、神林 由美、玉渕 恵里佳、大内 謙太郎、天貝 諒、橋本 彰、相場 節也、  
藤村 卓  
東北大
- O-110<sup>\*</sup> 特異疹が緊満性水疱を呈した ATLL の 1 例  
妹尾 春佳<sup>1</sup>、橋本 倫子<sup>1</sup>、神野 泰輔<sup>1</sup>、川上 佳夫<sup>1</sup>、平井 陽至<sup>1</sup>、谷口 恒平<sup>2</sup>、  
松岡 賢市<sup>3</sup>、山崎 修<sup>1</sup>、森実 真<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>岡山大、<sup>2</sup>広島市民病院病理診断科、<sup>3</sup>岡山大血液腫瘍内科
- O-111<sup>†</sup> 皮下脂肪織炎様の臨床像を呈した Intravascular large B-cell lymphoma (IVL) の 1 例  
石崎 真由、内山 明彦、遠藤 雪恵、渋沢 弥生、茂木 精一郎  
群馬大
- O-112 播種状丘疹様の特異疹を伴った CARL 遺伝子変異陽性の原発性骨髄線維症  
爲政 萌子<sup>1</sup>、田中 文<sup>1</sup>、出野 りか子<sup>1</sup>、中田 潤<sup>2</sup>、杉原 文徳<sup>4</sup>、松浦 愛<sup>2</sup>、柴野 賢<sup>2</sup>、  
安原 裕美子<sup>3</sup>、中塚 伸一<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>堺市立総合医療センター、<sup>2</sup>堺市立総合医療センター血液内科、  
<sup>3</sup>堺市立総合医療センター病理診断科、<sup>4</sup>大阪大免疫学フロンティア研究センター
- O-113<sup>\*</sup> 頭部血管肉腫を想起させた blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm  
秋野 萌子<sup>1</sup>、山崎 研志<sup>1</sup>、相場 節也<sup>1</sup>、市川 聡<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東北大、<sup>2</sup>東北大血液内科

- O-114\* 免疫抑制剤中止により寛解した医原性免疫不全関連リンパ増殖性疾患の1例  
 執行 延明<sup>1</sup>、大橋 隆宏<sup>1</sup>、柳澤 健二<sup>1</sup>、高橋 博之<sup>1</sup>、高畑 むつみ<sup>2</sup>、後藤田 裕子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>札幌厚生病院、<sup>2</sup>札幌厚生病院血液内科、<sup>3</sup>札幌厚生病院病理部

10:30~11:30 一般演題 18 【薬疹、蕁麻疹】

座長:千葉 貴人 (のりこ皮膚科)  
 藤本 篤 (エールホームクリニック皮膚科)

- O-115† ジアフェニルスルホン (DDS) による薬剤性過敏症症候群の1例~DDSで副作用を生じた5例のHLA解析を含めて~  
 西尾 麻由、内山 明彦、木村 彰仁、関口 明子、遠藤 雪恵、安田 正人、茂木 精一郎  
 群馬大
- O-116 カルバマゼピン内服により発症し、シクロスポリン内服が著効した薬剤性過敏症症候群の1例  
 鈴木 友博<sup>1</sup>、田中 諒<sup>1</sup>、朱 瀛瑤<sup>1</sup>、木花 いづみ<sup>1</sup>、種子島 智彦<sup>2</sup>、栗原 佑一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>平塚市民病院、<sup>2</sup>茅ヶ崎市立病院
- O-117\* 尿路上皮癌に対してペムブロリズマブ投与後に生じた中毒性表皮壊死症の1例  
 横田 菜穂<sup>1</sup>、中井 康雄<sup>1</sup>、寺邊 隆史<sup>2</sup>、佐々木 豪<sup>3</sup>、波部 幸司<sup>1</sup>、山中 恵一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>三重大、<sup>2</sup>鈴鹿中央総合病院泌尿器科、<sup>3</sup>三重大腎泌尿器科
- O-118 セザリー症候群に対してモガムリズマブ投与中にループス様皮疹を生じた1例  
 小林 研太<sup>1,2</sup>、新川 紗由香<sup>1</sup>、西本 周平<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>川崎市立川崎病院、<sup>2</sup>慶應義塾大
- O-119\* シクロスポリンにより改善したアダリムマブによる paradoxical reaction の1例  
 境井 尚大<sup>1</sup>、西村 望<sup>1</sup>、青木 直<sup>1</sup>、五味 由梨佳<sup>1</sup>、保坂 浩臣<sup>1</sup>、三輪 裕介<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>昭和大横浜市北部病院、<sup>2</sup>昭和大横浜市北部病院リウマチ・膠原病内科
- O-120† オマリズマブ投与直後に COVID-19 による急性増悪を伴った慢性特発性蕁麻疹の1例  
 葉山 惟大<sup>1</sup>、伊崎 聡志<sup>1</sup>、林 健太郎<sup>2</sup>、黒澤 雄介<sup>2</sup>、山田 志保<sup>2</sup>、清水 哲男<sup>2</sup>、  
 権 寧博<sup>2</sup>、藤田 英樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>日本大、<sup>2</sup>日本大呼吸器内科
- O-121 当院で診断した後天性特発性全身性無汗症 (AIGA) 症例に対するステロイドパルス療法の検討  
 山崎 絵美、高橋 隼也、山崎 研志、相場 節也  
 東北大

12:30~13:30 ランチョンセミナー 11 【乾癬治療の更なる進化を目指して】

座長:大塚 篤司 (近畿大)  
 本間 大 (旭川医大)

- LS11-1 乾癬バイオ三国時代における PsA 治療戦略  
 ~セルトリズマブ ペゴルの立ち位置を考える~  
 安田 正人 (群馬大)

LS11-2 いま残されている乾癬治療の課題  
小林 里実(聖母病院)

共催:ユーシービージャパン株式会社

14:40~16:40 皮膚科スペシャリティーナース講習会 (ビデオ講義)